



男女共同参画の新しいステージ ～改めてジェンダーを考える～

高市 早苗氏が第104代内閣総理大臣に就任した。見えない天井を突き破り、新たな時代のリーダーが生まれた。内閣発足は明治18年12月22日、初代伊藤 博文から140年が経ち、初めて女性首相が誕生した。世界を見回すと女性首脳は国連加盟193カ国中27カ国(今年6月時点)である。過去には鉄の女と呼ばれたイギリスのサッチャー首相や16年間の長期政権を担ったドイツのメルケル首相など、歴史に名を遺した女性リーダーがいた。ちなみに G7先進7カ国の内、女性首脳を輩出していない国はアメリカのみだそうだ。

本市で男女共同参画社会実現を目指す活動が盛んになったのは昭和から平成に移る頃だった。ウィメンズプラザ(新居浜市立女性総合センター)が開所したのは、平成2年5月、ほぼ同時期に新居浜市女性連合協議会も発足した。私たちの生涯学習大学とほぼ同じ歩みを辿ってきたことになる。いわば男女共同参画と生涯学習社会の実現は車の両輪のようなものだった。平成初期は、社会の様々な分野における男女の機会平等の観点から、女性の管理職登用や委員会の女性委員の増加を目指し、「男は仕事、女は家庭」という固定観念(ジェンダー)に囚われない個人重視の考え方の啓発に取り組んだ。その後、DV(ドメスティックバイオレンス)が社会問題として大きく取り上げられ、その解決にも尽力してきた。

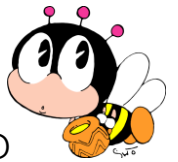
生涯学習大学でも、開設年の平成3年度に「女性魅力学講座」という 6 回ものの講座に取り組んだ。その内容は今見ると女性らしさにこだわりそれを磨くという内容が多く、むしろジェンダーを助長する内容だったなとも感じる。しかし、これも当時の風潮、今も変わらずかもしれないが、女性自らが選ぶ学習テーマは、やはり一番興味関心の湧くものというのが生涯学習の基本のようだ。その後平成 11 年に男女共同参画基本法が制定され、公正な社会を実現するための必須要件として、ジェンダーフリーが展開されてきた。しかしながら、未だその解消は道半ば、ジェンダーフリーの学びは SDGs の観点からも大切だと思っている。

先日、ある会議で国立女性会館の萩原 なつ子理事長から、兵庫県豊岡市のまちぐるみのジェンダーギャップ解消戦略の取組についてご教示いただいた。豊岡市も全国の地方都市の例にもれず、若い世代の女性が市から流出することに大きな危機感を抱いている。しかし、都会的なものを導入しようという発想ではなく、豊岡市に歴史的、文化的に根付いてきたジェンダーの悪弊を解消することで、生き辛さを払拭しようと動いたのだ。地域の行事は女性が裏方を担うのが当たり前、男性が意思決定する、職場での男女のキャリア形成の格差などについて、若い世代の女性たち(男性も含む)のプロジェクトチームが主動し、多くの市民との対話の場を作り、市民誰もが社会的、経済的な夢を持って、悔いのない人生を送ることのできる公平・公正なまちづくりに向けて動き始めたとのことであった。

生涯学習大学は現在、女性74%、男性26%と女性が多数派の学び舎である。感覚としては性別に囚われることのない、個性を大切にしたい学びの場を目指しているのだが、果たして受講生の皆さんがどう思っているのだろうか。男女共生の新たな時代の中で、成熟したジェンダーフリーとは何なのかを、より広く、そしてより深く対話を重ねて探し続けていかなければならないと感じる今日この頃である。

(文責 関)

「アフリカ理解・国際交流」



9月29日から始まった講座が11月10日に終わりました。モザンビークのカラフルなカプラナ布、食事、音楽などを通じて、国際交流を深め、アフリカの魅力、モザンビークの魅力をみんなで一緒に楽しみました。

第1回「アフリカ料理にチャレンジ！」



第2回「アフリカンファッションを楽しもう！」



第3回「モザンビークの伝統楽器・ティンビラとコラボ演奏しよう！」



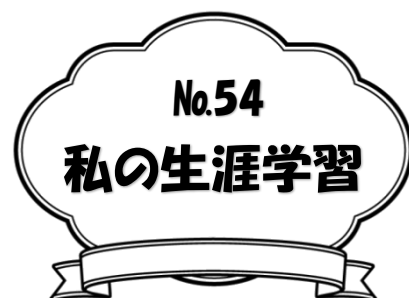
《受講生の感想》

- はじめてづくしのアフリカ・モザンビークのお料理！ごはんはシナモンを入れたり、バオバブの粉がものすごく酸っぱかったり、驚くことばかりで、味も食べたことのないものでとても楽しかったです。
- モザンビークの伝統、文化を学ぶ事ができて良かった。カプラナの意味を知り、自然界への敬意と文化深い家族との絆にも触れることが出来て良かった。
- とても楽しい時間でした。アフリカのよく耳にする音が、シンプルな楽器からでていることにとても感動です。また機会があると嬉しいです。



「後期高齢者のこの頃」

後藤田 直良



私は昨年後期高齢者になりました。高齢者は、60歳代が年少組、70歳代が年中組、80歳代が年長組と言われる様で目下、私は年中組でほぼ真ん中の様です。振り返って見ると60歳で定年退職し、さて、これからどう生きていくか結構悩み落ち込みました。その時に読んだ本が森村誠一著書の「老いる覚悟」でそこに、リタイヤしたら「もう自分はただの人」という意識を持たなければいけない。そして「何をしてもいい自由」と「何もしなくていい自由」を得るが、積極的に「何をしてもいい自由」を選ぶべきだとあり多いに感銘し吹っ切れて就活をすることにしました。

仕事はずっと民間でしたので、民間でない仕事をと決めて探しました。知人の紹介があつてまず大学へ2年間、それから自治体の出先、一般社団法人、NPO 法人と各1年間と65歳までフルタイムで働きました。こうして働いてみると仕事をする事には変わりはないのですが、そこで求められる優先度には大きな違いを実感しました。民間では営利追及と本音と建て前が一致しておりますが、いわゆる公益団体ではその乖離に大いに戸惑いました。特に自治体に於いての経験は強烈で、以後の人生観を大きく変えました。この自治体で経験は、元の職が建設業でしたので仕事上色んな外部との交渉や職人相手に対応してきたので対人関係構築には自信を持っていたのですが、自治体の出先の長とは関係構築が出来ず困惑し、本庁へも支援を求めましたが何ら有効な支援は無く困惑した一年でした。当時はメンタルについて知識も無く、対峙してしまった事が悔やまれました。

そこで人間理解へと、65歳でフルタイムの仕事を止めてカウンセラーの資格取得に松山の養成講座へ、最年長でしたが10カ月程通って無事産業カウンセラーの資格を、さらに5カ月勉強して国家資格キャリアコンサルタント資格も取得しました。また、昨年は、新居浜市発祥のグラフィック分析がカウンセリングのツールとして有効では思い、10年ぶりに資格取得に取り組み、認定グラフィック分析士、認定グラフィックカウンセラーの資格を取得。現在は「働く幸せ相談室」を主宰してカウンセリングを、高等学校やハローワークではキャリアコンサルタントとして就職支援の活動をしております。こうした資格取得への学びは、多くの色々な方達との出会いの場ともなり、交流を持てる様になり、資格を活かしてお役にも立つ事も出来、日々の生活の彩となっております。

そして今年度は初めて生涯学習大学で「人生百年」を受講、元気に年長組を目指して取り組み、日頃の生活では「かきくけこ」をモットーに、常に「か」の感謝を忘れず、色々な事に「き」の興味関心を持って学び、年金生活では「く」の工夫に心がけて節約し、「け」の健康第一に、そしてちょっぴり「こ」の恋心も忘れずに、人生百年を目指して、ボチボチと歩んでいるこの頃です。





講座カレンダー



予定のご確認を...

※警報や災害・講師の都合などで日程を変更することがあります。

日	曜	講座名	回	テーマ	時間	場所
7	水	新・雑談しま専科	8	食べることは生きること	9:30	生涯学習センター研修室
9	金	健康いきいきライフ	5	笑いヨガ	13:30	ふれあい多目的アリーナ
10	土	松山大学公開講座	10	小売とIT	13:30	生涯学習センター研修室
14	水	◎懐かしの心の唄講座	6	童謡、唱歌、ラジオ歌謡など時代が生んだ懐かしい歌を唄う⑦	10:00	文セン別館中ホール
		人生百年 健康に生き抜くための医学講座	6	寝たきりを防ごう！	14:00	文セン別館視聴覚教室
16	金	文化財見聞録 (市内編)	4	川東地区の文化財をめぐる	9:30	現地・その他
28	水	M・折り紙	1	折り紙	10:00	生涯学習センター研修室

※◎がついている講座は聴講可能講座です。

第37回新居浜アマチュアビデオコンテスト作品募集

視聴覚学習の発展と普及、生涯学習の推進を目的に作品を募集します。

【募集期間】 募集開始 令和8年1月9日(金) 9:00～
締め切り 2月13日(金) 16:00

- 【応募方法】
- ・題材自由で5分以内、一人1点、未発表のもの、応募費無料
 - ・応募作品のメディアは、DVD・BUとUSBでもOKです。
※作品は、発表会の時にお返しします。
 - ・作品には①住所②氏名③年齢④性別⑤電話番号⑥作品名を書いた用紙を付けて
新居浜市生涯学習センター事務所へ持参し、応募用紙に記入する。
 - ・(郵送の場合) 〒792-0023 新居浜市繁本町8-65 新居浜市生涯学習センター宛

【応募資格】 愛媛県内在住者に限る

《ビデオ作品 表彰式及び発表会》

【日時】 3月14日(土) 9:30～12:00(予定)

【場所】 生涯学習センター 第1研修室(2階)

【問合せ先】 ・新居浜市生涯学習センター TEL 33-2991

・新居浜ビデオクラブ 佐伯 TEL 090-7622-7838

※見るだけの方も歓迎します。自由にご参加ください。

